

令和4年度
学校関係者評価報告書

令和5年3月31日

学校法人 城西学園
城西放射線技術専門学校

1. 学校関係者評価の目的

学校関係者評価委員会は、城西放射線技術専門学校の運営状況（教育理念・目標、教育活動の現状や課題、経営状況など）について委員会メンバーから意見を聞き、学校運営を外部から評価することで改善に取り組むことを目的とする。

2. 学校関係者評価委員会

日 時：令和5年5月6日（土）

場 所：オンラインにて実施

出席者：学校関係者評価委員会委員、本校教職員

学校関係者評価委員会の人選は診療放射線分野、学校関係者、同窓会より人選し、学校長が任命した。

3. 評価対象期間

2022年4月から2023年3月

4. 評価は下記の点に留意し、自己点検と同様に4段階評価（4：大変良い 3：良い 2：あまり良くない 1：良くない）とした。

- 1) 自己評価結果の内容が適切か
- 2) 改善策が適切か
- 3) 改善に対する取組が適切か

基準1 教育理念・目的・育成人材像

	学校関係者評価項目	評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められている	3
2	教育理念・教育目標・育成人材像は専門分野におけるニーズに伴っているか	3
3	理念達成に向けた教育活動を行っている	3
4	教育理念・教育目標が周知されている	3

【評価・意見】

- ・診療放射線学科の増設に伴い、学校としての特色を明示することが必要。専門学校で学ぶという職業人を養成する学校としての人材育成に努めてほしい。
- ・大学志向が強くなる中、夜間の専門学校として仕事と勉強を両立させてきた社会人学生を診療放射線技師として送り出した教育理念、信念は今後も変わらずに貫いてほしい。

基準2 学校運営

	評価項目	評価
1	目的に合った運営方針が策定されている	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されている	3
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能している	2
4	人事、給与に関する規定等は整備されている	3
5	組織整備など意思決定システムが整備されている	2
6	教育活動に関する情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている	2

【評価・意見】

- ・中学、高校と専門学校を備えた城西学園としての事業計画や全体としての運営組織が機能するよう、理事会などを通じて取り組んでいく必要がある。
- ・少子化、大学志向の影響で専門学校、特に夜間校である本校は資格取得だけでなく、昼間の時間を有効活用することで得られるメリットを踏まえて学校運営をして欲しい。

基準3 教育活動

	評価項目	評価
1	理念・目的に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めている	3
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3	授業評価の実施・評価体制は整っているか	3
4	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確か	4
5	資格取得に関する指導体制は確立されているか	4
6	教員の資質、指導能力向上のための取組が行われているか	2

- ・医療技術の進化と診療放射線技師の業務拡大など学校での座学だけでなく、より臨床現場と連携した教育をしていくことで、卒業後に即戦力となる学生を育成することが出来る。

また、教員も併せて告示研修などを積極的に受けて授業に役立てて欲しい。

- ・学生の授業評価を無記名で行うことは評価できる。記名式では学生が自分の評価への影響を考慮して委縮し、特に自由意見の記述が当たり障りのないものになる懸念があります。否定的な意見も今後の授業内容見直しに有効なので続けて欲しい。

基準 4 学修成果

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られている	3
2	資格取得率の向上が図られている	3
3	退学率の軽減が図られている	2
4	卒業生・在校生の社会的な活動や評価を把握している	2

【評価・意見】

- ・国家試験合格率がここ数年低下している。オンライン授業が長かったとはいえ指導に問題はないか、学生が勉強する上で問題がないか見直す必要がある。また、4年時の卒業判定だけでなく、各学年の進級判定もより厳格にし、早い段階で学生の気を引き締めて勉学に取り組む姿勢を醸成する必要がある。それがひいては国家試験合格率向上につながると思われる。
- ・大学の診療放射線学科が増えている現状で就職は今後より厳しくなっていくと思われる。働きながら学ぶ学生が多いメリットを活かして仕事が国家試験に向けた勉強の妨げにならないような環境を作りたい
- ・現在は城西放射線技術専門学校が同窓会事務所になっているが、今後は卒業生の大半を日本医療科学大学出身者が占めるため、どのように運営していくかも課題になってくる。

基準 5 学生支援

	評価項目	評価
1	進路指導に関する体制が整備されているか	3
2	学生生活に関して相談できる環境は整備されているか	2
3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
4	学生の経済的な支援体制はあるか	1
5	保護者と適切に連携しているか	2
6	卒業生への支援体制はあるか	3
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4

【評価・意見】

- ・精神的な問題を抱えた学生にカウンセリングの機会を設けることは、退学防止に向けた取組として効果を期待する。
- ・保証人が安心して通わせられる学校であるためには、学生も保証人にとっても相談しやすい環境であることが必要。そのためには学生の動向に目を配り異変があったら保証人と連携して資格取得に向けて一体となって取り組んで欲しい。
- ・成績優秀者や家計急変による授業料延納者に対して学校独自の奨学金を行うことで、学生のモチベーションが上がるのではないかな。

基準 6 教育環境

	評価項目	評価
1	施設・設備は教育上、十分に対応出来るよう整備されているか	2
2	学外の実習やインターンシップについて十分な教育体制が整備されているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3

【評価・意見】

- ・予算があるので理想論にはなるが、学生が学ぶ教育機器は当然充実している方が良い。備えられない機器については、臨床実習で学べるよう受け入れ先と十分に打ち合わせして設備の不足が学力不足にならないようにすることが重要である。
- ・昼間に病院で働いている技師が講義に来ていることで、現場で求められるニーズをより理解することが出来る。病院実習やその後の就職に活かして欲しい。
- ・1年次の病院見学はモチベーションの維持や向上に非常に有効と思われる。コロナウィルス感染の社会的状況や病院対応の変化にもよるが、できるだけ実施できるように努めて欲しい。

基準 7 学生の募集と受け入れ

	評価項目	評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3
2	教育成果の情報提供は正確に伝えられているか	3
3	入学選考は、公正かつ公平な基準により行われている	2
4	学納金は妥当なものとなっている	3

【評価・意見】

- ・高校生人口の減少により学生募集はより厳しいものになっていく。高校生以外にも社会人に向けての募集活動を行うべく SNS を活用した幅広い広報活動が必要。
- ・夜間課程を考える学生は経済的問題を抱えていることがほとんど。国家試験合格に向けた学力を備えた高校生の出願者数を増やすためには学納金や学校独自の支援がないのは厳しい。
- ・学校説明会を複数回実施しているが、回数に見合った集客が出来ていないのならば、休日出勤して対応する教職員の負担になってくる。時期や時間について検討してみてはどうか。

基準 8 財務

	評価項目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	2
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2
3	財務について、会計監査が適正に行われているか	3
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

【評価・意見】

- ・城西学園として行われている会計監査で、財務調査は適正に行われていると考えられる。
- ・機器は購入だけでなく維持費やメンテナンスにも費用が掛かるため、予算の中に具体的な試算が組み込まれているか見直しが必要。

基準 9 法令等の遵守

	評価項目	評価
1	法令、設置基準を遵守し、適正な運営がされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己点検・自己評価の実施と問題の改善に努めているか	3
4	自己点検・自己評価の結果を公開しているか	5

【評価・意見】

- ・学外の声を反映することは重要だが、学校関係者評価のような大掛かりな会議ではなく、同窓会の流れなどで学校の取組の発表と意見をいただける場の方が意見を述べやすい。
- ・入学定員が大幅に多い年度があることは、教育上で問題はないのか。
- ・学生や学校運営に関する法令だけではなく、教職員に対しても個人情報の扱いや運営についての知識も必要となるので、対策を行う必要がある。

基準 10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
1	学生の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
3	地域活動に積極的な参加をしているか	2

【評価・意見】

- ・昼間に働いている学生のスケジュールにはボランティア活動に充てる時間がない。
ボランティア活動を希望する学生への支援を行うことで充分だと感じる。
- ・次年度は城西大学附属中学・高校にて文化祭が開催された際は、近隣住民や中高生との交流の場として地域活動に貢献する意味でも参加して欲しい。